

平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 <small>（団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内</small>		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 <small>（管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）</small>	指標名	来館者数 （単位： 人）	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	47,000	今年度の実績値 45,276

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数（人）		34,461	39,148	41,947	44,611	47,712	21,921
貸し室稼働率（%）		56	45	49	56	63	55	65
延べ事業開催回数（回）		35	45	40	48	45	33	47
延べ事業参加者数（人）		7,472	18,379	21,633	22,466	21,733	8,507	17,799

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	88,917	指定管理委託料	89,464
	事業収入（公演収入等）	9,231	事業収入（公演収入等）	9,277
	利用料金	8,042	利用料金	8,178
	助成金	16,110	助成金	16,903
	合計	122,300	合計	123,822
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	39,531	人件費	38,326
	維持管理経費	42,733	維持管理経費	43,011
事業等経費	40,036	事業等経費	39,994	
合計	122,300	合計	121,331	
<収支差>		<収支差>		
収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	2,491	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入		1,860	1,861	4,661	1,861	3,461
（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	-
市の支出		97,488	85,314	86,604	98,291	125,389	-
（内、指定管理委託料）		93,319	84,734	82,972	89,545	89,464	-
実質経費（歳出 - 歳入）		95,628	83,453	81,943	96,430	121,928	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的 に実施し、常に清潔に 保たれているか。	A	中長期計画に基づいた 空調機更新を実施。備 品等を適切に管理し、 運営に支障が出ないよ うに迅速な対応を行っ たほか、利用者へ節電 協力を依頼し環境に配 慮した運営を行った。	A	仕様書等に基づき、 適正に業務が実施さ れている。また利用 者に協力を要請する など、節電の実績も 効果が上がってい る。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置など の実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	財団法人地域創造が実施するステージラボなどの研修へ職員を派遣するなど、制作ノウハウの向上に努めた。	B	積極的な研修参加による、職員の資質向上に努められている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合の合同避難訓練に参加するなど、連絡・協力体制を築いている。	B	周辺施設と連携を取り、適正に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等 に関する 項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者へヒアリングを実施した上で、利便性の向上を目指した対応を行ったほか、加チャームの利用案内を更新し、より公平な運営を目指した。	A	仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	演劇初心者を対象とした長期のワークショップを実施し、表現者の育成を目指した。	B	仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	新聞五大紙各社や雑誌・アベニューなどへ積極的に情報提供を行うことで度々記事が掲載された。	B	SNSなど新しい媒体を積極的に取り込む他、新聞各社にも取り上げられており知名度向上に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	各種助成金による収入の確保と共に経費削減に努め、効率的な運営を行った。	B	収支計画に基づき適正に取り組まれている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況については、概ね近年と同水準で推移している。事業運営では、アンケートの結果を分析し、要望を取り入れた運営を心掛けており、概ね好評価を得ている。今後は開館から25年を経過し施設、設備の老朽化が進行していることから、その状況を的確に把握した修繕計画を作成し管理運営を行っていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	満足度が「たいへん満足」「満足」を合わせて83%と高い水準で推移している。	イベントホール利用者よりホール内と楽屋で別々に空調設定が出来るようにして欲しいとの声が多数寄せられていた為、空調設備更新の際に市と調整を行い、別系統の空調設備を設置した。
回答者数	情報を得ているメディアツールについての設問で、インターネットが17%（前回より4% 1/2UP）であった。WEBサイトやSNSでの広報活動が徐々に浸透してきていることがわかる。	アンケートや利用者へのヒアリングでバリエーション設置の要望があった為、カルチャールームAに設置した。
1,627		気軽に文化芸術を体験できる『土曜日のワークショップ』に対して、継続を望む声が多く寄せられた為、継続して実施している。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	